

五智国分寺の「山門」修復

小島清介さん私財投じ協力

小島さんが私財を投じ取り組んだ五智国分寺「山門」の修復作業。2年ぶりに「山額」が元に戻された



2年ぶりに「山額」復活

上越市五智三の五智国分寺（高橋考深住職）で平成十七年から「山門」の修復が行われてきた。

小島塗装店（市内北本町二）社長の小島清介さん（70）が「貴重な文化財を守りたい。一生に一度、あるかないかの仕事」と、社員や仕事仲間の協力を得て私財を投じ作業。五日、二年ぶりに「山額」が元の位置に戻された。

火災に伴う本堂再建にかかわった故・平原直一さんが提案したという「山門」の修復。小島さんがその遺志を受け継いだ。

可、指導を受けるなど全面協力。腐食や虫食いは思いのほかひどく、修復に三年を費やした。

「山額」にも塗装が施され「安國山」の文字が美しさを増してよみがえった。二年ぶりに上がり「やはり、あるのとなしいのでは大違いです」と

高橋住職。「いろいろな意味で万感の思い。文字通り安らかな世の中になれば」と善意に感謝した。

「縁があってやらせていただきありがたい」と感無量の小島さん。今回は直せなかった傷みもあり「私の生きていこうとちにとかしたい。支援が地域に広がってけば」と願いを話した。

特製生クリーム白あん
あん生 トリコノ
小竹製菓 (524) 7805

だ。申し出を受け高橋住職は、書面で関係機関の許